



赤い羽根  
福祉基金

# 救護施設先駆的実践シェア事業

## にこやかサロン

～ちょっとそこまで おでかけ～



福島県 社会福祉法人 郡山清和救護園  
救護施設 郡山せいわ園  
主任相談員 齋藤和哉



# 1.法人紹介

## 社会福祉法人 郡山清和救護園

救護施設  
郡山せいわ園



養護老人ホーム  
希望ヶ丘ホーム



小規模保育園  
きらきらげんき保育園



法人理念

「地域の中で地域とともに  
自分らしくいきいきと」



## 2. 取り組むにあたって・・・

地域の福祉ニーズに応えるために  
何ができるか常に模索していた。

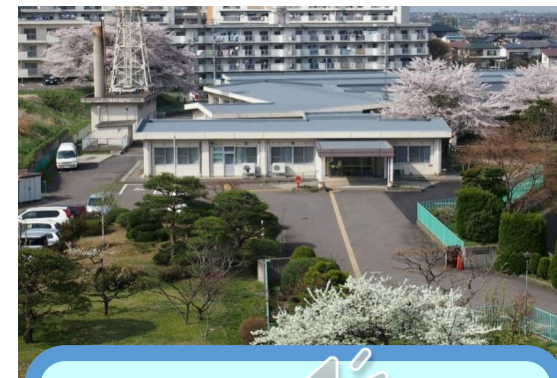
ニーズ調査を行い、郡山市と協議した。  
その結果、ひきこもり支援に着目した。



救護施設  
郡山せいわ園



**地域の居場所づくり**



養護老人ホーム  
希望ヶ丘ホーム

### 3.事業開始への準備

(1) 受け入れに当たっての居場所の確保

(2) ひきこもりの方の支援について  
研修等への参加・勉強会の実施

①秋田県藤里町社会福祉協議会  
福祉の拠点 「こみっと」 訪問

②各種研修会への参加

③明治学院大学 社会学部  
教授 新保美香先生をお迎えしての勉強会

(3) 連絡会の設置

・ 地域協力者や法人役職員等で構成されている

(4) 関係機関への事業内容開示・連携協力体制の構築



地域交流ホール



秋田県藤里町社会福祉協議会  
福祉の拠点 「こみっと」



# 4.事業紹介



赤い羽根  
福祉基金

救護施設先駆的実践シェア事業

にこやかサロン ~ちょっとそこまで おでかけ~

## (1) 事業目的

地域社会の中でひきこもりや何らかの支援を必要としている方々などに対し、安心して参加できる居場所の提供等を行い、地域社会や人とのつながりを持っていただき、自立を促していく。また、法人・施設の機能強化を図っていくことで、より一層地域社会との連携を図り、地域ニーズに応えていく。



## (2) にこやかサロン事業内容(令和4年4月～)

(事業内容)

実施場所：希望ヶ丘ホーム

実施時間：第2・3・4木曜日の月3回  
10:00～12:00

定員：5名

参加費：無料

※昼食に、お弁当を準備



# にこやかサロン サロンメニュー

\*写真の掲載は本人に了承を得ています



風鈴の絵付け



石筵ふれあい牧場散策



グランドゴルフ

居場所の提供等を行い、複数のサロンメニューからその方が希望するものを選択していただいた。



季節の行事



クリスマス会



初詣

# (3) にこやかサロン実施状況

令和4年度

実施回数	実施日	参加者数(名)		合計
		男性	女性	
1	4月14日	2	1	3
2	21日	1	0	1
3	28日	0	0	0
4	5月12日	0	1	1
5	18日	0	2	2
6	26日	1	1	2
7	6月9日	1	0	1
8	16日	1	1	2
9	23日	2	1	3
10	7月14日	1	1	2
11	21日	1	1	2
12	29日	1	1	2
13	8月18日	1	1	2
14	25日	1	1	2
15	9月8日	1	1	2
16	15日	0	1	1
17	22日	2	1	3

18	10月13日	1	1	2
19	20日	1	1	2
20	27日	1	1	2
21	11月10日	1	1	2
22	15日	2	2	4
23	24日	1	1	2
24	12月8日	1	1	2
25	13日	2	2	4
26	22日	1	1	2
27	1月17日	1	2	3
28	2月24日	1	1	2
合計		29	29	58
			平均	2.1

# (4) にこやかサロン (年齢構成)

	40代	50代	60代
男性		3	
女性	1		1

(令和5年2月28日現在)

## (5) スタッフの配置

- ・ 専任職員：2名を配置
- ・ 各担当施設から3名
  - \* 中間的就労訓練に携わっており、生活困窮者への相談支援の経験があるものなどを配置している。  
(社会福祉士、介護福祉士等)
  - \* また、開催日に併せて、各施設で連携して実施している。



## (6)地域との連携

### ①連絡会の開催

(①令和4年9月21日、②令和5年3月24日実施予定)

- ・ にこやかサロンの実施状況等について情報の共有を図るとともに、より多くの方に参加いただくためにはどうするかなどについて協議・検討を図った。



(令和5年2月28日現在)

## ②関係機関との連携

1.郡山市保健福祉部総務課

2.郡山市社会福祉協議会

3.福祉まるごと相談窓口（2ヵ所）

4.就労を支援するNPO法人

5.地域公民館（10ヵ所）

6.高齢者あんしんセンター（5ヵ所）



# 5.参加者の様子

- ・『にこやかサロン』を気分転換できる場所や目標を達成するためのステップアップの場所として、個々の様々な目的に活用していただいている。



- ・当初は、会話が苦手だった皆さんでしたが、参加を重ねるごとに参加者同士の会話も増え、コミュニケーションが図れるようになってきている。

- ・また、参加者と親しくなり、次回会えるのを楽しみにされている様子が見られている。

- ・にこやかサロンを通じて、参加者の方2名が就労に結びつき内1名は希望ヶ丘ホームの宿直業務を希望され、就業に至った。

## 6.地域・関係機関からの声について 民生児童委員の方など

- ・安心して参加いただける居場所づくりについて検討していく中で、  
「人はいくつになっても人とふれあい携わることで、元気で笑顔でいられるのだと改めて思い、憩いの場の大切さを感じました」とのお言葉をいただきました。



# 高齢者あんしんセンターの方

- ・ 「ひきこもりの方は、地域にたくさんいらっしゃいます。私たちもどのように支援していいか模索している中で、にこやかサロンのような取り組みがあると、支援をつなげていけるとおもいます」とのお言葉をいただきました。



# おわりに

今回の取り組みから、開催した地元とのつながりをより深めることができたとともに、関係機関と蜜に連携を図ることで地域のネットワークを強化することが出来ています。

参加してくださっている皆さんも、顔を合わせる回数が増えるたびに笑顔も多くみられるようになっていきます。

今後もこの事業が地域の皆様に必要とされるように鋭意努力してまいります。



ご清聴ありがとうございました!!

